



びーのびーのは、子育て中の親子がいつでも立ち寄れるほっとできる場所です。

びーのびーの 通信

2010年 6月号

NO. 120 ■ NPO 法人びーのびーの事務局 ■

〒222-0037 横浜市港北区人吉山3-57-3

TEL045-540-7422 FAX045-540-7421

URL <http://www.bi-no.org>

●雨上がり・・・木の葉のしずくに街が映っています♪

びーのびーのは今年で 10 周年を迎えます！

今月はひろばが生まれたころの話を、びーのびーのの理事長・奥山に聞いてみました～♪

～10周年を迎えるにあたって～

平成 12 年 4 月 19 日に、菊名西口商店街の空き店舗で「おやこの広場びーのびーの」は産声をあげました。いつでも気兼ねなく過ごせる場が欲しいと集まった親たちが、それぞれの力を合わせての開設・運営でした。絵本が好きなスタッフは、「ひろばで文庫活動しよう！」と図書館と掛け合い、広報のスタッフは子どもを連れて区役所の予防接種に合わせてチラシを配る、オープニングは、風船アートで装飾、ひろば内も費用はかけず手作り感あふれる空間でした。当時、親子が集える場は少なく、道行く人に「子ども預かってくれるの？」などと聞かれたのも懐かしい思い出です。



NPO 法人びーのびーの理事長
奥山千鶴子



またスタッフの子どもたちが幼稚園や保育所の降園後にあつまっては商店街中を走り回る。時々来る中学生や障害を持ちながら働いているお兄ちゃんと手品をしたり、昔懐かしい異年齢の交流が見られる場でした。まったくの自主事業、家賃をなんとか払いながら、みんなボランティアでしたが、人と人がつながる面白さ、子どもを通じて育む縁がとても温かく心地よいものでした。それが 10 年の活力につながって

今、ひろばのスタッフの多くはその当時の利用者である親たちです。いつのまにか、支援する立場になっていました。そして、今も子どもを連れてボランティアがひろばで活躍中！そうです。親であることこそが私たちの強み。学生さんから人生の諸先輩まで幅広い年齢層のサポーターこそが私たちの力。自分たちが必要なことは自分たちで生み出そう！そんな思いが、いまは全国に 1500 力所にひろがったひろばの原点であります。だから、遠慮なく、ひろばでは自分を出して、開放して、子どもが身近にいることをおもいきり楽しんでほしいと思います。みんなで子育て、生きる力の源になれたのならうれ

びーのびーのは、子育て家庭のニーズを利用者の親子から学び、事業として広げてきました。これからも同じです。ご縁のあった港北区と一緒に、子どものふるさとづくりをしていきたいと思っています。(奥山 千鶴子・文)

お知らせ

びーのびーの 10 周年記念シンポジウム

「何が大切？」

乳幼児期の子どもの子育て・保育・園選び」

日時：2010年7月17日(土) 12:30～15:00

場所：新横浜プリンスホテル(横浜市港北区新横浜3-4)

定員：250名 *保育が必要な方はお問い合わせください

参加費：2000円(学生1000円)

☆シンポジスト☆

汐見稔幸先生(白梅学園大学学長)

柴田愛子先生(りんごの木子どもクラブ代表)

宮里暁美先生(お茶の水女子大学附属幼稚園副園長)

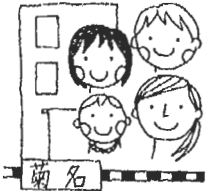
☆コーディネーター☆

大豆生田啓友(玉川大学准教授・びーのびーのアドバイザー)

<http://bi-no.org/2010sinpo/sinpo-annnai.html>
にて申込受付

お問合せ：NPO 法人びーのびーの事務局
TEL:045-540-7422 FAX:045-540-7421

おやこの広場
びーのびーの



ひろばの風景

梅雨前のさわやかなお天気の日が続いていますが、子どもたちはお日様のもとで三輪車やキックカーで商店街を走っています。最近グループ保育にも入ってますます大人っぽくなった2歳のKちゃん。ひろばが閉まる16時になっても、帰りたくなくて「もっと遊びたい。」とママに訴えます。ママに優しく「Kちゃんの気持ちもわかるけど、もう帰ろうね。」と言われて渋々帰るKちゃん。そんなある日、Kちゃんのママがその後のエピソードを話してくれました。この前、家でおやつ時間ではない時にお菓子を食べたがったので、「今はだめよ。」と言うとKちゃんが「ママの気持ちもわかるけど、Kは今食べたいの。」と言ったそうです。それを聞いたひろばのスタッフや会員さん一同、「すごい、ママの言葉を応用して使ってる！」恐るべし2歳児。子どもはちゃんと大人の言葉ひとつひとつを覚えているのだなあとお話でした。(T)



ひろば利用案内

<入会金>・・・1000円
1ヶ月フリーパス・・・2100円/月
1回利用料・・・300円/回
マタニティ利用料・・・200円/回
ビジター利用料・・・500円/回

◆0～3歳の子どもが対象です。 ◆ひろば見学は、初回のみ無料です。
◆きょうだいで同時にひろば利用される場合、2人目以降半額。(6ヶ月未満は無料)
ただし、下のお子さんは上のお子さんのひろば卒業と同時に正規料金となります。
◆ひろば利用料は、びーのびーの運営、維持費として活用させていただいています。

【開館時間】	【休館日】
月・水・木・金 9:30～16:00	第3土曜日以外の土曜日・日曜日
火曜日 13:00～16:00	祝日・年末年始・特別休館日
第3土曜日 10:00～14:00	

※入会金は、1家族初回のみ。
のちにきょうだいが入会の場合は不要。

R・A・I・N ♪雨の日の過ごし方♪ R・A・I・N

「雨の日は子どもとどう過ごせばいい?」・・・梅雨時によく耳にする悩みです。そこでひろばのスタッフや親子ボランティア自身の体験から、雨の日に子どもたちが喜び、楽しんだアイデアをご紹介します。雨空の日でも親子で笑顔になれるような、素敵な過ごし方ができますように。

室内編(いろいろな道具を使って)

- ・TV番組の真似をしての工作ごっこ。牛乳パックや空き箱をはさみで切ったり、クレヨンで色塗り。のりやテープも大量に使った。新聞紙で洋服、王冠作り。
- ・大きな段ボールや紙に好き放題にお絵描き、スタンプ押しまくり。
- ・段ボールで秘密基地ごっこ。トンネルや滑り台にも。
- ・新聞紙のびりびり破り。最後はビニール袋に詰めて大きな風船にした。

クッキング編(料理やお菓子作り)

- ・クッキーを作って型抜き。
- ・長時間かけて野菜を切らせたり、ちぎらせたりした。

旅編(雨が降ろうが関係なく外出したがる子どもには・・・)

- ・バスや電車を利用して、あてのない旅をした。
- ・カッパを着て傘を差して、線路沿いでひたすら電車を見た。

水と触れ合う編(雨上がりにお勧め)

- ・大きな水溜りで思いきり遊ばせた。水溜りの泥んこの上を走ったり滑ったり。
- ・水溜りに小枝を浮かべたり、落ちているもので遊ぶ。

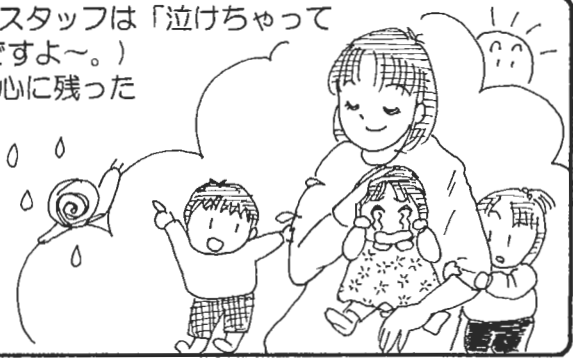
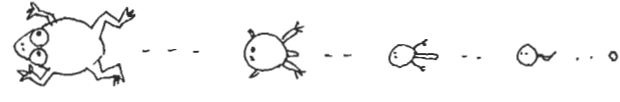


グループ保育の風景



連休明けの「ゆーのびーの」はあいにくの雨。
 新しいお友だちも入り今日はみんな泣いてしまおうかなあ〜と思っていたスタッフ。
 やはりママが行ってしまうとちらほら泣き顔が…。
 でも泣くのを我慢するより思いっきり泣いちゃった方が短時間で復活しちゃうんです。

だからゆーのびーのでは泣くのを我慢させるより、泣けた子にスタッフは「泣けちゃって良かったね」と泣かせています。(もちろん暖かく見守りながらですよ〜。)
 だってスタッフにだっこしてもらって遊んでも、悲しい気持ちは心に残ったままじゃ思いっきり楽しめないですよ。
 だっこしてもらって思いっきり泣いちゃえば気持ちもスッキリ。
 にこにこ顔が見えるとスタッフも嬉しくなっちゃいます。
 早く泣き顔が減って楽しく遊べる時間がふえるといいな。(S)



- 10日(木) 10:00~11:30 子育て相談日
 臨床心理士の伊志嶺美津子先生が子育ての中で
 出会う不安や心配な事を一緒に考えて下さい
 ます。
- 11日(金) 13:30~14:30 お外でひろば
 親子と一緒に公園に出かけましょう。
 遊びのマイスター眞壁が同行します。汚れても
 いい服装で。雨天中止。
 予約：不要 参加費：ひろば利用料+50円
- 17日(木) 11:30~ おはなし会
 元気な子ども集まれ！まずは気軽に参加してね。
- 23日(水) 13:30~ 赤ちゃん体操
 赤ちゃんとうったりと優しく触れ合いながら
 の体操です。体操の後はお母さんのためのリラ
 ックタイムもありますよ。
 要予約：10組 参加費：300円

6月 Calendar

月 火 水 木 金 土

	1	2	3	4	5
	13時開館				
7	8	9	10 子育て 相談日 10:00~	11 お外で ひろば 13:30~	12
	13時開館				
14	15	16	17 おはなし会 11:30~	18	19 10:00 14:00
	13時開館				
21	22	23 赤ちゃん 体操 13:30~	24	25	26
	13時開館				
28	29	30			
	13時開館				

☆一般参加の場合、ひろば利用料として500円
 別途いただきます。
 ☆火曜日の開館時間は13:00~16:00です。
 ☆毎月第3土曜日は10:00~14:00まで開館
 します。(6月は19日に開館)
 ☆隔週木曜日午前中は助産師がいます。6月は
 3、10、24日です。お気軽にご相談を。
 (不在の場合もありますので、ご了承ください。)



~親子ボラと会員ママのつぶやき~

7ヶ月を過ぎた頃…半径1メートルから離れようものなら、この世の終わりのように泣き叫ぶ我が子。夕飯なんて作ってられず…苦肉の策は、朝早起きして夕飯作り。なのに、我が子までが早起き…陽菜、母ちゃんは、お前が寝ている間にいろいろ済ませたいのだ。もうちょっと寝ておくれ(涙)。いつまで続くのだろう…?元の生活を忘れた今日この頃です。



5月のバザーにお越し下さった皆様ありがとうございました。バザーについてのご報告は次号でお届けいたします。

おすすめえほん

「ごぶごぶ ごぼごぼ」
 (駒形 克己さく 福音館書店)

赤ちゃんは「音の響き」によく反応するようですよ！
 「ごぶごぶ ごぼごぼ」(福音館書店)はまさにそんな一冊☆
 擬音の楽しさに赤ちゃんも声を出して大喜びです！本に「穴」が開いているのも好奇心をそそります。

びーのびーのの活動って？

NPO法人びーのびーのは、地域で共に育ち合う子育て環境を目指して、港北区内に拠点を置き事業を展開しています。また、各拠点にどう人とのつながりを大切にしつつ、さまざまな連携を図りながら地域への発信をしています。

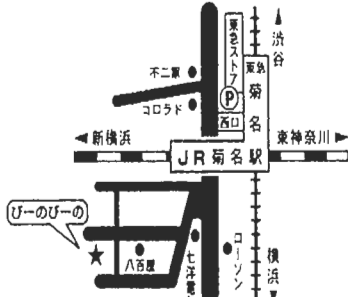
拠点

親と子のつどいの広場事業 おやこの広場 びーのびーの

◆横浜市社会福祉協議会「親と子のつどいの広場事業」

2000年4月開設。商店街の空き店舗を借り上げて、子育て当事者で立ち上げた子育てひろば。利用者である会員やスタッフ、ボランティア、地域の人たちと共に、子どもの遊びや育ちを見守り、出会えるひろば。子どもも大人も居心地の良い居場所づくりを目指して取り組む。

<http://www.bi-no.org/>



東急東横線・JR横浜線菊名駅西口より徒歩2分

〒222-0021
横浜市港北区篠原北 1-2-18
TEL 045-439-7447
FAX 045-439-7448

◆開館時間◆
月・水・木・金 9:30～16:00
火曜日 13:00～16:00
第3土曜日 10:00～14:00
◆休館日◆
第3土曜日以外の土曜日・日曜日・祝日・年末年始・特別休館日

港北区地域子育て支援拠点 どろっぽ

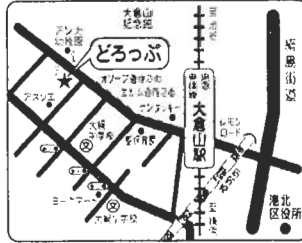
◆港北区地域子育て支援拠点委託事業

「学生によるわくわく子育てサポーター」

「港北区子育て応援メールマガジン ココめ～る」

2006年3月開設。0歳～6歳までが登録。横浜市次世代育成支援行動計画「かがやけ横浜子どもプラン」における1区に1つの支援拠点モデル事業として開設。5つの要綱(親子の居場所事業/相談事業/子育て情報の収集発信事業/ネットワーク事業/人材育成事業)を総合的に取り組むための拠点として運営。

<http://www.kohoku-drop.com/>



東急東横線大倉山駅徒歩10分
または市バス41系統川向町行き「観音前」下車

〒222-0037
横浜市港北区大倉山 3-57-3
TEL 045-540-7420
FAX 045-540-7421

◆開館時間◆
火～土曜日 9:30～16:00
◆休館日◆
日曜日・月曜日・祝日・年末年始・特別休館日
◆登録料・利用料◆ 無料

事業

◆預かり保育事業「ゆーのびーの」

今年度は2～3歳児のグループでの預かりを、おやこの広場びーのびーので火曜日の午前に実施。在宅家庭支援に必要とされる幼児期の預かりへのニーズに対応する。預かりを通じて親との信頼関係を築き、地域からの理解を得ながら活動。

◆子育て関連情報の編集・制作・販売

- ・広報紙の発行(毎月)
法人全体の事業や地域の子育て関連情報を紹介。
- ・幼稚園・保育園ガイドの発行(年1回)
港北区および周辺地域の園情報を掲載

◆菊名 WARA・びー実行委員会

小学生を中心に親子でまちの歴史を学び、交流を深めることを目指した地域交流事業。

◆ウェブサイトの編集・制作・運営

- ・港北区子育て応援マップ【ココマップ】
〈港北区社会福祉協議会受託事業〉

2004年9月、子育て情報サイトを開設。子育て当事者らによる編集委員会を毎月開催。特集ページの作成、子育て関連イベント情報の提供など充実したサイトを運営。

<http://www.kouhokushakyo.or.jp/>

◆わくわく子育てサポーター事業

学生ボランティアが子育て家庭を訪問し、乳幼児家庭のお手伝いに参加する活動を中心に、活動前の研修や地域学校や保護者との連携の体制づくり、学生ボランティアの活動支援作りのための場づくりを支援。

法人事務局

- NPO法人
びーのびーの事務局
正会員・準会員の管理をはじめ、対外的な窓口として機能を果たす。

関連法人事務局

- NPO 法人子育てひろば
全国連絡協議会事務局
全国の子育てひろばの会員組織を研修事業・調査研究事業などでサポート。

編集後記

食卓に宿題を持ってきて長男と次男が、私の横で勉強しています。最初は静か。でもいつの間にかギャハギャハ笑ったり、踊ったりで脱線気味。最後に「早くやりなさい！」の私のカミナリでまた勉強に戻るのですが、いろんな話が出て面白い。しばらく食卓教室は続きそうです。(た)

びーのびーの通信

No.120

発行元 NPO法人びーのびーの 発行人 奥山千鶴子
＜編集＞ 米本真貴子 工藤百代 白瀧宏子 今井幸子
高橋直子 原美紀 牧谷泰子 山田弘美 戸松綾子
＜イラスト＞ 山田弘美 横山 朋子



今月の1ポイント:不順な天候で喘息やめまいを起こしやすくなります。体調管理を。

よねもと耳鼻咽喉科

・・・ベビーカーでの来院可・・・

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00～1:00	○	○	休	○	○	○	休
PM 3:00～7:00	○	○	休	○	○	休	休

休診日 水曜日・日曜日・祝日・土曜日の午後

TEL 045-434-3347

〒222-0013 横浜市港北区錦が丘16-16 Y Kビル3F

伝言板

古来から大井川の清流と冷涼な気候の恵みを受け、銘茶の産地として有名な川根の白瀧製茶からこだわりのお茶をあなたへ

新茶販売中～!

抹茶入り玄米茶 450円
高級煎茶 1,000円
ほろ茶 650円



白瀧のお茶【菊名店】

〒222-0021 横浜市港北区篠原北 2-9-12
FAX:045-431-6119(毎日24時間受付)

びーのびーのは配達しませんが、個別配達も実費を頂戴します。